

女性が社会・地域で活躍するには ～家族みんなが応援団～

女性の立場で地域に関わり 17 年になります。女性が地域社会でどう活躍するか、まちづくりの取り組みについてなど、まっただ中にいる立場からお話します。

学者さんが話すような社会論的な角度でなく、女性が地域で活動する時のコツ、テクニク的なこと、精神的なことなど体験事例を出して話をさせていただきます。

これからますます地域住民がまちづくりに参加していかなければならなくなる方向で、日常を通じて地域を知り尽くした女性の出番は非常に重要になってくると思います。

■女性が社会・地域で活躍するには？

- * 女性が地域で活動するとき、多数の男性の中に少数の女性という構図になることが多いと思います。中には女性の発言を軽視するような場面もあるかもしれません。それでもひるまず笑顔で質問する、意見を言う、アイデアを出すことです。女性らしさを活かすには基本的な組織のルールも理解しておく必要があります。
- * 女性の優れた直感を活かして組織内の力関係や人間関係を読み取ることも大切です。
- * なんととっても一番の問題は人間関係です。誰でも苦しみながら嫌々ながら活躍なんてできません。一緒に悩み汗を流す仲間と良い距離関係を築くと楽です。



■3つのエン（円・縁・援）について

- * 人間関係を円滑にしておくために私は3つのエンを心がけています。
「円は丸く角を立てないお付き合い」
「縁は一緒に活動する仲間とのご縁を大切に」
「援は頑張る人や仲間を応援する」です。
- * ギブ&テイクでいくとやった分だけ見返りを期待してしまい結果腹の立つこと（損した気分）になってしまいます。ボランティア要素の強い活動は「ギブ&ギブ」の精神でいきましょう。見返りの期待はやめましょう。心配しなくてもその行為に対してではなくとも違った形で時間差で自分に必要なテイクが返ってきます。
- * 男女問わず信頼関係を築いてこそ意見を尊重し合ったり、お互い相談を持ちかけたり出来る関係になります。私の経験上さほど年齢は関係ありません。年齢に応じた活躍の場面があるからです。
- * 数多くの女性が社会的に頑張れるようになるには、身近なところでロールモデルがあればいいのではないのでしょうか。